

# 湯布院

## 2019新春号

2019年(平成31年)1月発行  
独立行政法人 地域医療機能推進機構  
JCHO湯布院病院  
大分県由布市湯布院町川南252  
電話：0977-84-3171(代表)

# 2019

新年  
明けまして  
おめでとう  
ございます

# 迎春



### 院内作品展



新年あけましておめでとうございます。

毎日、青空を背景に霧をたなびかせながら新緑から紅葉、雪景色に変わる由布岳を眺めて通勤してきましたが、湯布院に赴任して2回目の新年を無事に迎えることが出来ました。これも皆様方の御蔭だと感謝いたしております。

さて、独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)では、今年4月から独法後6年目を迎えることになり、新たな計画のもとに第2期中期計画の初年度が始まります。湯布院病院では、「地域で人々が幸せに暮らしていくために、リハビリテーションを核とした地域医療を推進します」の理念に基づき、新たな気持ちで身を引き締めて職員一丸となり頑張っていきたいと考えています。

今年は、新春から次の行事を開催いたします。関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

- 第3回市民公開講座／1月10日(木) 14:00～15:30／会場：湯布院福祉センター
- 日本医療マネジメント学会第19回大分県支部学術集会／2月23日(土) 9:30～／会場：当院

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

ジェイコー  
JCHO湯布院病院 事務部長 堀川 利美

# 日本医療マネジメント学会 第19回大分県支部学術集会



## 開催のご案内

大会テーマ  
**「幸せに暮らせる町」**  
～地域医療・災害医療を中心にして～

開催日 **2月23日(土)** 9:30～ (受付9:00～) **会場 JCHO湯布院病院**



この度、日本医療マネジメント学会 第19回大分県支部学術集会を、平成31年2月23日(土)にて開催させていただきますことになりました。

今回のテーマは「幸せに暮らせる町～地域医療・災害医療を中心にして～」です。住み慣れた地域で住民が、安全・安心・生きがいを持って暮らし続けることのために、地域医療・地域リハビリテーション・地域包括ケアシステムは、現在そしてこれからの地域で欠かせないものであり、地域医療の推進は、湯布院病院が属する独立行政法人の使命そのものでもあります。また、このところ日本全国で様々な災害により犠牲者が出ており、地域によってはその後の生活を続けることが困難な事態も生じています。そうしたテーマに沿った特別講演・シンポジウムを企画しています。その他のテーマや視点による幅広い一般演題も募集しますので、多くの演題の応募をお待ちしています。さらに、従来どおりクリティカルパスのポスター展示も企画しますので、宜しくお願いいたします。関係者の皆様の情報共有や協働のお役に立てば幸いです。

「湯布院」の2月は寒くなりますが、由布岳のおごそかな景観とともに、湯布院病院のスタッフがあなたかく「おもてなし」させていただきます。たくさんの方々のご参加をお待ちしています。

大会実行委員長 根橋 良雄  
(JCHO湯布院病院 院長)



Japan Community Health care Organization  
独立行政法人 地域医療機能推進機構 (JCHO)

## 湯布院病院

〒879-5193 大分県由布市湯布院町川南252  
(代表) TEL:0977-84-3171・FAX:0977-84-3969  
(地域連携室直通) TEL:0977-84-5277・FAX:0977-84-5890

<https://yufuin.jcho.go.jp>

湯布院病院

検索



# 市民公開講座を開催しました♪



※唾液腺マッサージの実際の様子!皆さん真剣に取り組んでいます。



湯布院病院 根橋院長が由布市における災害避難所について説明がありました。

災害支援ナース日野ますみさんからお薬手帳の大切さを紙芝居で伝えています。

作業療法士 佐藤友美さんから避難所での生活不活発病を防ぐための運動など指導がありました。

歯科衛生士 三ノ宮美紀さんから避難所での口腔ケアの方法や唾液腺マッサージなど指導がありました。

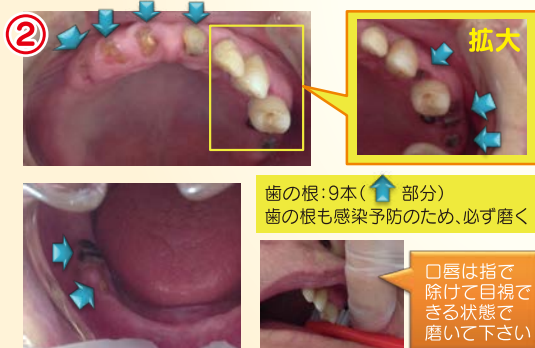
## 次回市民公開講座 / 2019年1月10日(木) 感染予防のお話

### リハビリテーション科に歯科衛生士が所属しています



左端:他院歯科衛生士・真ん中:当院歯科衛生士・右端:歯科医師

当院では平成22年から、リハビリテーション科に歯科衛生士が所属しており、平成23年からは地元歯科医師会との間に「ゆふ医科歯科連携システム」を締結し運用しています。業務内容は、入院中の口腔トラブルの対応と必要に応じての①訪問歯科診療の調整、全身麻酔手術前の口腔アセスメント、口腔衛生指導・管理、口腔ケア・リハビリ、②退院支援として口腔ケア手順書、情報提供書の作成やかかりつけ歯科への受診を目標としたリハ支援等です。平成29年度は全入院患者の45%に歯科衛生士処方が出ており歯科衛生士のニーズは非常に高く、今後も患者の「健口」<sup>けんこう</sup>づくりに多職種と取り組んでいきたいと思ひます。



#### 口腔ケア手順

頭部を振ることがありますのでベッドアップで行うと行い易いです

- ①入れ歯を外す
- ②スポンジブラシで、大きな食べカスを拭い取る
- ③歯磨き(歯の根も磨く)
- ④スポンジブラシで、歯の表面や粘膜(歯ぐき・頬の粘膜・舌の表面)を拭う  
※うがいは困難です。スポンジブラシを使用して清拭を行って下さい



### 2018年度(第2回) JCHO湯布院病院 市民公開講座 ~災害に負けない!~

**災害時の避難生活でも健康を保つ!**  
講師: 根橋 良雄 (JCHO湯布院病院 院長)

**防ごう生活不活発病**  
講師: 佐藤 友美 (JCHO湯布院病院 作業療法士)

**災害時にお薬手帳を活かすには**  
講師: 日野 ますみ (JCHO湯布院病院 看護師 災害支援ナース)

**災害時のお口のケア方法**  
講師: 三ノ宮 美紀 (JCHO湯布院病院 歯科衛生士)

# 地域連携室 紹介



#### ◆入院・受診相談

当院への入院や受診を希望される患者さんの相談を受け、利用が可能な入院判定会議において検討しています。



#### ◆患者搬送

連携先病院に紹介患者さんを迎えに行き、当院までの搬送を行っています。当院の搬送車を使用し、スタッフが同行します。



#### ◆患者訪問

2018年度より、入院紹介元の医療機関に、患者状況の確認に伺っています。



#### ◆入院判定会議

医師、看護師長、セラピスト、MSW(メディカルソーシャルワーカー) 医事課スタッフが集まり、入院紹介患者の入院の時期、受け入れ病棟についての検討をしています。



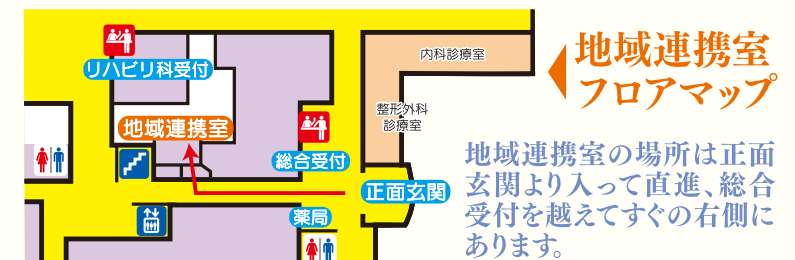
#### ◆退院支援カンファレンス

入院後1週間以内に、退院支援部門看護師、病棟師長、担当MSW、専任MSWで退院支援に関する話し合いをしています。



#### ◆病床運営会議

在院日数や平均患者数、提供リハ単位数等の確認を実施しています。



#### ◆連携・広報活動

患者さん、地域住民の皆様、また関係機関の方々が、スムーズに当院へ受診・入院が可能となるよう、地域の医療・保健・福祉機関への連携・広報活動を行っています。今年度は、由布市、大分市、九重町、玖珠町、別府市などの医療機関59施設に訪問しました。

#### 平成29年度 圏域別紹介率

